

学内広報

2016.5.25

no.1482



五月祭で愛嬌をふりまいた「イチ公」。



7年ぶりの主管校として
七大戦で優勝しよう!

旧帝大の国立七大学が全42競技で争う総合体育大会

7年ぶりの 主管として 七大戦で優勝しよう!

※1 実行委員会が冬季春季競技のPR用に公開した約1分の動画。



http://www.7-univ.jp/image/movie/winter_spring_PV.mp4

※2 普通の東大生が馬術部の危機を救うために入部し「影」と呼ばれる敵とライトセーバーで戦ったりする7分45秒の英語劇。新歓情報は最後に字でちらっと出るだけ。潔し!



<fb.me/2wagLkRMw>

※3 優勝回数 (主管優勝回数)

1	京都大学	14回 (6回)
2	東北大学	12回 (8回)
3	東京大学	10回 (4回)
4	大阪大学	7回 (5回)
5	北海道大学	4回 (4回)
5	九州大学	4回 (4回)
7	名古屋大学	3回 (3回)

※4 第54回 (東北大会)
総合順位

1	東北大学	231点
2	大阪大学	210点
3	東京大学	202点
4	京都大学	196点
5	北海道大学	169点
6	名古屋大学	146.5点
7	九州大学	119.5点

各競技につき1位10点、2位8点、3位6点、4位4点、5位3点、6位2点、7位1点(原則)の勝点を与えられ、合計で順位が決まります。



七大戦副実行委員長
渥美真生さん
文学部4年。ア式蹴球部マネージャー。星新一やトルストイが好きな「ラスポス」!

七大戦実行委員会の3人に聞きました

— 七大戦PV^{※1}では松山さんが7人いましたね。

堀 1学年下の広報担当が七大戦の「7」にかけて企画しました。自分のイメージが固まるまで構想も教えてくれなかったんですけど。

渥美 七大戦パンフの表紙やTシャツのデザインも同じ人です。馬術部の学生で、馬術部でも独創的な新歓ビデオ^{※2}をつくっています。

松山 新歓用なのについて最近の公開でした。作り込みすぎて遅くなるタイプ(笑)。七大戦PVは昔のファンタのCMがヒントだそうです。

堀 「3年〇組×先生」のシリーズですね。

松山 好評で閲覧回数は数万に達しています。— 最近の七大戦の事情を教えてください。

優勝回数は東大が一番じゃないんですね^{※3}。

東北大学の4連覇を絶対に阻止する!

松山 近年は東北大学が強くて3連覇中です。昨年も一昨年も序盤は東大がリードしたんですが、逆転されました。実は東大が主管として優勝したのはだいぶ昔(1988年・27回大会)。そろそろピシッと一発決めたいんです。

— 前回大会では東大が1位を奪ったのが9競技、東北大は10競技でほぼ互角でしたね。

松山 前回^{※4}は東北大学が史上最高得点を更新しました。見ると東北大学は下位に沈んだ競技がほとんどない。1位も多いけど、おしなべて中位以上の競技が多い。前々回(京都大会)でも、東大と東北大で上位の競技数はあまり変わらないんですが、

下位の数に違いがあった。そこが響いたと思います。

— 優勝には下位競技を減らすことが大事ですね。

松山 実は冬季競技は伝統的に東大が強くて、毎年6月頃までは東大

が上にいます。今年は、いつも強い航空部に加えてアイスホッケーとスキーが健闘し、1位で折り返しました^{※5}。スタートダッシュはばっちり。でもすぐ下に東北大学がつけているので油断は禁物です。

東大は一般的にマイナー競技が強いんですが、夏のメジャー競技ではそうでもないんです。

あと、女子競技で落とす場合が多いかな。満遍なく参戦はできているんですが、

— 優勝は女子の活躍にかかっている、と。

堀 前回大会では競泳女子が優勝してくれました。今年も期待できると思っていましたが、エースだった人がいなくなってしまいました。そこを補う競技が出てくれるといいんですが。

渥美 ラクロスとかソフトテニスとか、東大のキャンパス内でやる女子競技にぜひ応援をお願いします。

— では委員長、優勝への皮算用を。

松山 1位を10個取って、ほかが全部5位以内だったらいけますが、6~7位が出るときびしいかな。勝ち点でいうと、去年の東北大学と同じ230点をとれば優勝でしょう。

— 応援を増やすためにはどんな工夫を?

渥美 ラクロスとかソフトテニスとか、東大のキャンパス内でやる女子競技にぜひ応援をお願いします。

— では委員長、優勝への皮算用を。

松山 1位を10個取って、ほかが全部5位以内だったらいけますが、6~7位が出るときびしいかな。勝ち点でいうと、去年の東北大学と同じ230点をとれば優勝でしょう。

— 応援を増やすためにはどんな工夫を?

渥美 ラクロスとかソフトテニスとか、東大のキャンパス内でやる女子競技にぜひ応援をお願いします。

— 応援を増やすためにはどんな工夫を?

普及のため全新生にパンフを配布

松山 もともと運動に興味がある学生は運動部に入っているの、裾野を広げるには運動に興味がない人に目を向けてもらう必要があります。運動部に入っていない学生にとっては運動会という距離感があるようで、七大戦も広く知られているわけではない。そこで、去年までは各部に1冊ずつ配る程度でしたが、今年は新一年生全員、約3000人にパンフレット^{※6}を配りました。





旧帝国大学の七大学が42の運動競技で総合優勝の座を競い合う七大戦(旧・七帝戦)。第55回大会は東京大学が主管校となつてすでに始まっています。かつては強豪だった東大ですが、この27年間ではなんと1回しか総合優勝できていないのが現実です。ですが、今年は運動会の気合いが違います。運営を担う運動会総務部の意気込みが違います。そんな学生たちを教職員が応援しないでいいのでしょうか。いや、よくない。他大に負けるなんて研究でも運動でも許せないのが東大のはず。応援しましょう。勝ちましょう。

堀 あと、今年はイチ公の着ぐるみができましたから、うまく活用したいですね。会計局長を中心にイチ公特別班を編成しています。

松山 七大戦では大会ごとにマスコットがいますが、こういうふうにも継続的に使う例はたぶん初。総務部としてのブランド戦略です。認知度が意外と一般学生にも高かったの、それを大事にしよう。これから調整してイチ公にも応援をもらってあげてもらおう予定です。――競技を見ると、野球はあるけど、サッカーやアメフトやラグビーはないんですね。

松山 消耗が激しくて連続して試合をするのが難しいために入っていないんです。一方、マイナーな競技が比較的多く入っていますから、あまり有名ではない強い部を見るいい機会になりますよ。教職員の皆さんに応援に来てもらえれば学生の励みになります。

漣美 総務部にいると他の競技の応援に行く機会があるんですが、同じ東大の仲間が別の競技でがんばっているのを見ると、かっこいいと思います。教職員の皆さんだったら、学生のいつもと違う姿が見られておもしろいんじゃないかな。応援って楽しいですし。――堀さんは運動部所属じゃないそうですね。

連敗を揶揄する人が悔しくて広報に

堀 高校までは剣道部でしたが、ふんぎりがつかず、1年次は何もやりませんでした。2年生のときに、硬式野球部^{※7}の連敗記録が報じられるのを傍から見てバカにするようなことをいう人がいて、それが本当に悔しくて……。そのとき、彼らは知らないだけじゃないか、と気づいたんです。それなら私が、がんばっている学生と、それを知らずにいる学生との架け橋になろうと思って、総務部に入りました。一人でもファンを増やしたいです。――総務部内でもめごとはないんですか。

漣美 ないですよ。

松山 ぼくが勝手に何か言いだして押しつけることはありましたね。パンフを新入生に配るといのはまさにそれでした。例年は開会式に間に合うようにつくっていたんですが、今年は新入生に配ろうと1月頃に思い立って。

大急ぎで動かないといけませんでした。

堀 何とか無事にできてほっとしましたよ。

松山 課題として感じるのは、各部同士、あるいは総務部と各部のなかで、温度差があることです。運営の際に、部によってはなかなか書類が出てこないとか、冬競技の部は終わってほっとしたのが写真提出が遅いとか、一枚岩になれていないなと思うことがあります。

漣美 たとえばサッカー部がサッカー部のことだけを考えるんじゃなくて、他の部のことも考えて横のつながりを深めるようにしたいんです。まずは運動会内で、次に東京大学内で、いままで以上に運動部の活動を知ってもらい、運動部の活動で大学を盛り上げたいんです。6月に行く運動会内の交流会に、今年は七大戦決起会の意味合いも持たせる予定です。自分の部だけ勝てばいいじゃなく、まず互いに応援しあう環境をつくりたい。先日、東京六大学の会合があったんですが、立教の委員長が自らいろいろな部の試合に出かけてFacebookで発信するという活動をしていました。できることをやらなきゃと思っています。

堀 私が目指すのは「顔の見える広報」です。冬季PVでは各部主将に言葉をもらいました。個人に光をあてることで、主将と同じクラスの人が、身近な人ががんばっているという気持ちになるはず。かっこいいけど親しみがあると示してファンを増やそうと思っています。

松山 「真のアマチュアリズムの追求」^{※8}という理念を胸に臨む七大戦。今回は主管で、開会式^{※9}は安田講堂。我々は気合いが入っています。ノーベル賞のような学術だけでなく東大は学生の運動部活動もがんばっていることを力強く示します。

三人 どうか熱い応援をよろしくお願いたします！

※5 第55回(東京大会)総合順位(5月時点)

1	東京大学	28点
2	名古屋大学	20点
3	東北大学	16点
4	京都大学	11点
5	九州大学	10点
5	北海道大学	9点
7	大阪大学	7点

昨年12月のアイスホッケー種目では、7連覇中だった北海道大学も撃破して5勝1分で46年ぶりの優勝。スキー競技(アルペン・クロカン・ジャンプ)では2位。今年2月の航空種目では団体・個人ともに1位となり3連覇を達成。2位に8点のアドバンテージを持って夏競技を迎えます。

※6 イチ公が表紙に鎮座する今回の七大戦パンフレット。背景の宇宙空間に担当者の気合いが漂います。表2の会場マップにイチ公の競技別イラストがあるのも工夫の一つ。



※7 東大硬式野球部を舞台にしたマンガ『ロクダイ』(コージィ城倉/講談社)では七大戦の野球種目もテーマに。コミックス2巻では京大戦、3巻では決勝の名大戦が描かれていて、実際の野球部の戦いと比べて読んでみると面白さ倍増のはず。

- ※8** 七大戦の五つの理念
- 一、真のアマチュアリズムの追求
 - 一、学生による自主運営
 - 一、競技レベルの向上
 - 一、他大学との親睦をはかる
 - 一、運営費の削減

※9 開会式は7月2日(土)。当日夜には学生会館でレセプションもあります。さらに、8月7日(日)には応援団合同演舞演奏会も開催。各大学の応援団が圧巻のステージを繰り広げます。「私が入部して苦節4年。そして、とうとう主管校応援部主将として、他の6大学をこの手で葬る日が近づきつつあることに高揚感を抱かずにいられません」と語る応援部・峯崎真汰主将 渾身のリードを見逃すな!



七大戦広報局長
堀菜保子さん
教育学部4年。清水翔太やパッチトウズが好き
な総務部の「マドンナ」!



注目部の主将に聞きました①

自分が1年のときに公式戦デビューを果たしたのが七大会でした。ラクロスでは東大が強豪の部類に入るので、下級生にも出場のチャンスがあるんです。全6試合に出してもらい、全員で優勝を味わういい経験を得ました。第29代主将としては、今回は若手に経験を積ませつつ、優勝は絶対に果たさねばならないと誓っています。ただ、今年は例年より早く6月に試合があるので、1年生を出すのは難しそうですが。

ライバルとなるのは京都大学でしょう。でも昨年の双青戦で圧勝しましたし、当然勝ちますよ。東と西で比べると、東のほうが基礎レベルが高く、西のチームには激しさや元気がある感じがします。単にうるさいだけかもしれません(笑)。

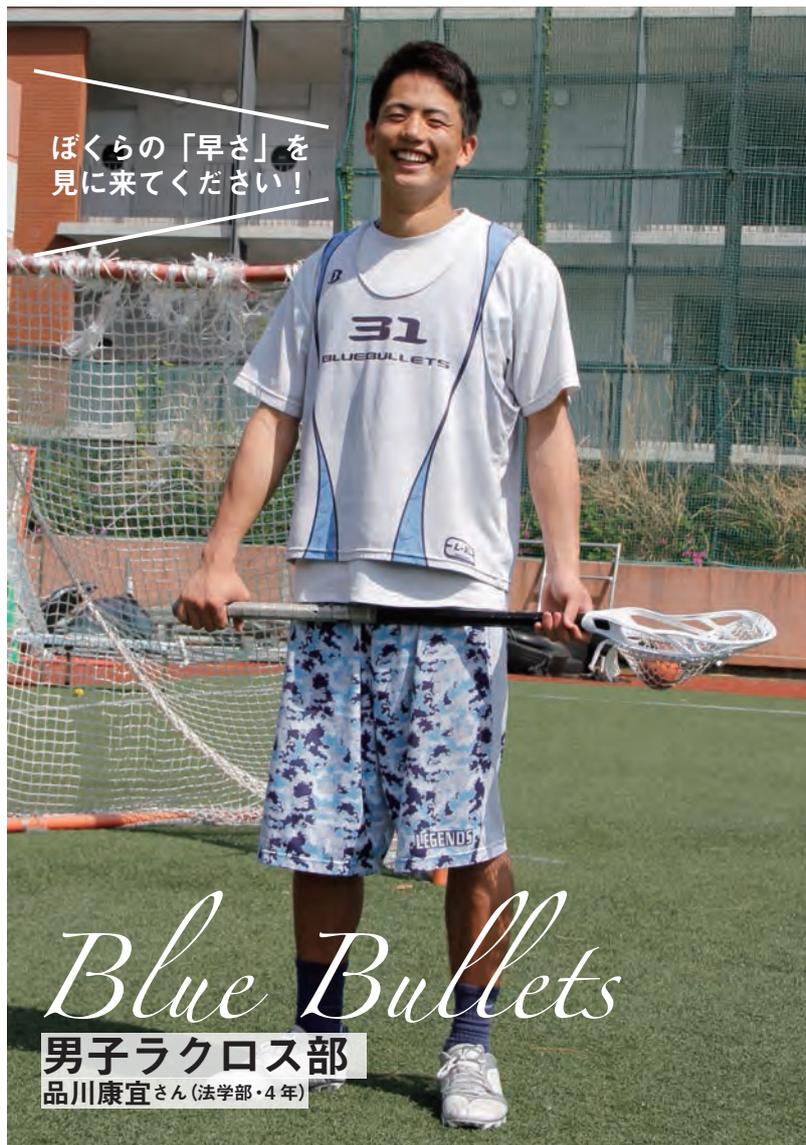
東大は伝統的にロースコアで勝つのが得意ですが、実は去年から攻撃の意識を高めています。ディフェンスが前に出て球を奪い、そこからの「ブレイク」*でアタック陣が点を取る。12~13点は取って勝つ新スタイルを目指しています。

今年のスローガンは「もっと早く」。「速」じゃなく「早」です。動作の速さには才能の要素も強いけど、時間的な早さなら意志で制御できるはず。1対1の勝負をかけるタイミングの早さ、ボールを奪って守から攻に転じる早さ、練習を始める早さ、課題に対するPDCAのサイクルの早さ……。念願の日本一に向けて日々の生活から「もっと早く」を体現している我々の成果の一端を、御殿下グラウンドでお見せします。

*ボール奪取から攻撃陣が相手守備陣より一人多い状態で攻撃すること

主将のイチ押し!

「背番号1の鐵見周平選手(工学部・4年)です。ポジションはミディ。守と攻のつなぎ役です。ブレイクの際に彼がどこにいるかを見ると試合が深く味わえます。部で一番のイケメンなので、顔にも注目です!」



七大会・今後のスケジュール

6月		
20~25日	バスケットボール	駒場第二体育館ほか
24~26日	ラクロス(男子)★	御殿下グラウンド
26日	少林寺拳法★	駒場第二体育館
30~3日	硬式テニス★	昭和の森テニスセンターほか
7月		
9~10日	ヨット	八景島マリナー
9~10日	柔道	講道館、日体大柔道場
16~18日	ラクロス(女子)	駒場ホッケー場ほか
16~17日	剣道	御殿下記念館
17日	空手道	御殿下記念館
23~24日	競泳★	銀河アリーナ
30~31日	陸上競技	大井ふ頭中央海浜公園
8月		
7日	応援団(演舞会)	安田講堂
9~14日	バドミントン	文京スポーツセンター
10~12日	準硬式野球	上柚木公園野球場

教職員は淡青色の競技が狙い目!

★は前回大会で1位になった競技

11~13日	硬式野球★	農学部野球場
12~13日	フェンシング	駒場第二体育館
15~19日	バレーボール	エスフォルタアリーナ八王子
17~23日	ハンドボール★	御殿下記念館
20~21日	水球★	青木公園水泳場
20~21日	馬術	三鷹馬場
23~25日	ゴルフ	東京ゴルフ倶楽部
26~31日	弓道	育徳堂
28日	相撲	川崎市富士見相撲場
9月		
1~5日	ソフトテニス	駒場テニスコート
2~6日	アーチェリー	検見川総合運動場
3~7日	卓球	御殿下記念館
6~7日	ソフトボール	検見川総合運動場
12~14日	自動車★	本庄サーキットほか
16~18日	体操	彩の国くまがやドーム

6月は、バスケ、男子ラクロス、前回大会で1位の少林寺拳法が構内開催。前回1位の硬式テニス男子にも注目です。7月は、男子と違う魅力の女子ラクロスと寸止めの組手で競う空手道が構内開催。前回女子が1位で男子が2位の競泳、男子が2位だった陸上にも期待です。8月は、七大会では横綱級の硬式野球、連覇を狙うハンドボール、同じく連覇を狙う水球と、有力競技が続々登場。フェンシングと相撲は前回2位からの奪首に期待が○募ります。そして、9月。最終競技の卓球で逆転優勝を決めた第51回大会のような歓喜は再び東大に訪れるのでしょうか!?



Blue Wings

女子バスケットボール部

森脇可奈さん(理学部・4年)

注目部の主将に聞きました②

七大戦で思い出深いのは前々回の大阪大学戦です。終了まで残り数十秒で放ったシュートで逆転し、その年唯一の勝利をゲット。みんなで泣きました。前回大会は、東北、大阪、名古屋に勝ち、残り3つを落としての5位。7位、6位、5位と一つずつ順位を上げていますから、今年は4位、いえ、優勝を狙います。女バスは七大学の実力が拮抗しているの、どの試合も10点差以内の接戦になりそうです。

今年のチームは4年が4人で3年が0人、2年が8人です。上級生か下級生かを問わず、全員で試合に臨みます。昨年は攻撃型の選手が多かったんですが、今年はそうでもないの、ディフェンスでがんばる必要があります。堅守でコースコアに持ち込んで勝つ。小柄なチームなので、攻守の切替えの速さと運動量の豊富さで勝負します。相手の守備が整う前に「アーリー(オフェンス)」で点を取りたいですね。

チームとして取り組んでいるのはリバウンドの強化です。特にディフェンス時、背中を使って相手を外に押し出す「スクリーンアウト」がポイントです。東大はいま関東4部で、秋のリーグ戦で3部に上がるのが目標。それまでにリバウンドを強みにするのが必須です。七大戦はこの取り組みが使いものになるか否かを確認する大事な場と捉えています。

バスケの最終日は駒場第二体育館が会場。完全ホームで優勝を決める一戦を戦いたいです。「一本! ソーレー本!」(パンパン)のコールで私たちの背中を押してください。

主将のイチ押し!

「背番号11のガード・大竹晟佳選手(教養学部・2年)です。七大戦前回大会で3ポイント王と新人王に輝いたキープレイヤー。屋上の落書きせんべいが好きな彼女の勝負強い3ポイントシュートをお見逃しなく!」



公式マスコット「イチ公」だワン!

東大が前回主管を務めた第48回大会のために誕生したのがこのワンちゃん。当時は七大戦にかけて「ナナ公」と呼ばれていました。モチーフは東京帝国大学農学部上野英三郎教授の愛犬だったハチ公。胸の銀杏マークと学帽に東大の自負と誇りがこめられています。第48回大会後、旧制一高とのかけあわせから「イチ公」と改名され、現在では七大戦のみならず東京大学運動会全体のマスコットとして定着。今大会用に、赤門を加えた新しい絵柄がつくられ、さらに待望の着ぐるみ(「さんまのまんま」のまんまちゃんと同じ会社製)もできました。食いしん坊で好物は焼き鳥、趣味はTwitterでたまにつぶやぎ、運動会Facebookをチェックすること。ナナ公時代には主管校破りの屈辱を受けたイチ公。その名にあやかって今大会こそイチ番に!



↑すでに六大学野球ではデビュー済!



公式グッズが続々登場中!

※価格はすべて税込

トートバッグ



1100円 (表) 1700円 (裏)

どれもかわいすぎ! 今大会にける意気込みはグッズ展開からも明らかです。掲載したのはあくまで5月13日現在で決定済のもので、今後も続々登場予定。お楽しみに〜。→東大生協 www.utcoop.or.jp

スポーツタオル 1200円



マフラータオル 1200円



Tシャツ

1300円
1900円
1080円
(上から)



教養教育の現場から

第15回

リベラル・アーツの風

創立以来、東京大学が全学をあげて推進してきたリベラル・アーツ教育。その実践を担う現場では、いま、次々に新しい取り組みが始まっています。この隔月連載のコラムでは、本学のすべての構成員がぜひ知っておくべき教養教育の最前線の姿を、現場にいる推進者の皆さんへの取材でお届けします。

体験型授業の手法を活用したシンポジウムを開催

／教養教育高度化機構シンポジウム「教養教育とアクティブラーニング」

お話／教養教育高度化機構
アクティブラーニング部門 特任准教授

小原優貴



双方向の要素をシンポに導入

——アクティブラーニングと科学技術
インタープリター養成両部門担当の今回のシンポ。テーマ決めはどのように？

「教育改革の中で非常に注目されているということでアクティブラーニングを選びました。教養教育を重視してきた本学の特徴をアピールしようとの思いもありました。せっかくだから講師が話すだけでなく参加者も巻き込むものにと、体験型の要素を加えたのが今回の特徴です」

「参加者の興味はアクティブラーニング型授業への制度的な取組みにあるだろうと考え、第1部では3人の先生に登壇いただきました。まずは永田先生に駒場の教養教育を概観していただき、次に制度的取組みという観点から必修の学術英語(ALESS / ALESA)に関わってきたガリー先生、そして、新たに平成27年度から始めた初年次ゼミナールの増田先生。駒場のアクティブラーニング発展の流れを見せようとの意図をこめた構成でした」

「体験型の第2部は、違いを出そうということで、アクティブラーニング部門の吉田先生は大人数向け、科学技術インタ

ープリター養成部門の定松先生は少人数向けの授業としました。アクティブラーニングというと「アクティブ」に注意がいきがちですが、これはあくまで手法。「ラーニング」のほうが大事です。それをメッセージとして伝えたいと考えました」

——問題が出され、近くの受講者と話し合っただけで答を紙で提示するのが新鮮でした。多数決で答えて間違えましたが(笑)。

「学習者同士で学び合うピアインストラクションですね。講師は提示した課題の答えやその理由について学生同士で議論させ、その上で解説をします。こうした手法は、学生の積極的な参加を促し、課題に対する理解を深めることができます」

——当日は追加席も出る盛況でしたね。

学習観の変化で全国的に注目が

「参加者170名に全体評価を5段階で聞くと9割以上が4か5でした。印象的なのは申込者の4分の1が首都圏外だったこと。全国的に注目されていることを実感しました。アンケートでは「東大の意気込みが感じられた」「参加型のシンポが新鮮だった」などのコメントがありました。いま注目のアクティブラーニングが東大だ

とどう実践されるのかという興味を持たれたようです。学習観が変化し、知識の吸収だけでは通用しない時代になってきました。学習指導要領でも言及され、各大学でも取組みが進んでいます。現状を共有したい関係者が多かったのでしょう」

「アクティブラーニングの評価のあり方がまだ確立していないなか、複数の講演でその点への言及があったことに、司会者として手応えを感じました。定松先生は画一的でなく学生の成長に応じて評価するやり方に、吉田先生はプレゼンのパフォーマンスを評価するやり方を示唆しました。今回の収穫だと感じています」

——部門の今後の予定を教えてください。

「「+15」というガイド冊子がありますが、2016年度はこれを授業に使っている先生の例を紹介する実践編をつくる予定です。予習用のビデオ教材で知識を習得し、授業ではその知識をベースに対面ならではの課題に取り組む反転授業に関する講座も開講予定です。講義型の授業しか経験していない人にとってアクティブラーニングは踏み出しにくいものかもしれませんが、そんなときこそ私たちの部門が役に立ちます。何でもアクティブに相談下さい！」

シンポジウムのプログラム(概要)

開会挨拶	小川桂一郎
シンポジウム趣旨説明	松尾基之
第1部 教養教育におけるアクティブラーニングの取り組み	
基調講演	東京大学教養学部における構想と実践 永田敬
学術英語のアクティブラーニング	トム・ガリー
初年次ゼミナール—新たな少人数授業でのアクティブラーニングへの取り組み	増田建
第2部 アクティブラーニング体験ラボ	
大人数講義における実践	吉田壘
少人数授業における工夫	定松淳

3月9日(水)に21 KOMCEE WESTのレクチャーホールで行われた本シンポジウム。隣接のMMホールではKOMEX各部門によるポスターセッションも行われました。

・コンセプトテスト (Concept Test)

・故障したトラックを乗用車が町まで押ししていきます。

乗用車が加速中にトラックを押ししている時、

1. 乗用車がトラックを押し出す力 = トラックが乗用車を押し返す力
2. 乗用車がトラックを押し出す力 < トラックが乗用車を押し返す力
3. 乗用車がトラックを押し出す力 > トラックが乗用車を押し返す力
4. エンジンがかかっていないからトラックが押し返す力はない
5. 乗用車にもトラックにも力は働いていない

出所：Mazur, E. (1997). Peer Instruction: A User's Manual, Addison-Wesley, 改変

①吉田先生の体験ラボで出題された問題。参加者は3人1組でこの問題の答を探りました。②問題の答をカードで表示する参加者たち。③定松先生のセッションでは、大学院生が登壇し、実際の授業で使われた「ミニッツレポート」をもとに議論を展開しました。



集中連載

ビジョンのビジョン

起草メンバー座談会で見えるその背景と展望

第5回／大学のミッション拡張へ

鈴木真二（司会／広報室長）○総長は全部局を回って「東京大学ビジョン2020」を説明したとか。

総長●はい。幸いどの部局からも積極的に活用できそうな、具体的なメッセージだと言われています。結果的に、国立大学改革の大学側の戦略構築にも活用できるものになったと思います。

鈴木○学外、たとえば産業界の反応はいかがでしたか。

総長●特に、過去140年の状況を鑑みて打ち出した、大学のミッションの拡張については、期待をひしひしと感じますね。いかにこれを具体的に実践していくかが重要です。気を引き締めているところです。

鈴木○では最後に一言ずつ振り返っていただけますか。

藤井輝夫■大学と社会との関係が問われるなか、いま一度大学の役割を考える貴重な機会でした。一部局長としては、現場が取り組むポイントを捉えやすい構成になったと感じます。プランを作る際に、この精神に基づいて考えましょう、というものですから、現場としてはやりやすいのではないのでしょうか。

佐藤健二★梶田隆章先生は、従来質量がないと思われてきたニュートリノの質量を組織的な実験で明らかにした。実質がないと批判されてきた文系の学問にも実は確かな「質量」があるのだ、と組織的・実践的に明らかにするということですかね（笑）。ビジョンにはこの学術のもつ重要性を訴える面もあると思います。

齋藤希史◆先日、企業の人に東大のこれからを説明する必要があって、ビジョンを抜粋して使ったら、とてもやりやすかったです。理念としてははっきりしているし、具体的な部分もある。コンパクトで使えるものができたという印象を持っています。

坂田一郎▼6ヶ月という短期間でできたことが重要でした。学内、社会と協創するためには、ビジョンの早期共有が重要です。また、社会への発信を重視するセンターの長としては、大きな研究テーマもこの策定作業からいただけたと思っています。

総長●今回よかったと思うのは、部局の現場から自分たちのためにつくられたように感じると言われたことです。ビジョンをもとに各現場のニーズに合わせて進めてくれそうで、どんな成果が出るか楽しみです。もちろん、新しい社会の協創には、学内だけでなく、学外の人、特に卒業生の皆さんが大切な仲間です。ホームカミングデイで感じた熱さを大切に、一つずつ形にしていきたいと思っています。

鈴木○直接にお話を伺い、大変に理解が深まりました。ありがとうございました。（了）

※1月8日の座談会の抄録です（ロング版は「淡青」32号に掲載）。



決算のD O O R

～リロード～
数字が導く東京大学の未来

第5回

30年後の東京大学（後半）

（前回までのあらすじ）30年後の国立大学を人口動態の視点で占って見たところ、あらあらなんと国立大学90法人全体で5,000億円もの減収に！これでは国民のみなさまから託された使命も役割も満足に果たできません。どうしたらいいの？ドラえも～ん！

たつたらつた たーつたー 四次元ポケットから取り出すは「将来予測財務諸表」。企業が経営計画を策定したり、他の企業に投資をする際に中長期視点で行う財政見通しです。不安定で不確実な経済状況下で意思決定を行う経営者は事業継続のために、様々なリスクを想定した将来予測を必要とします。国立大学法人とて同じこと。どんな状況下でも安定的・持続的に教育研究活動を行うための基盤的財源の確保は一丁目一番地。予算が不足しているからといって、本来必要な組織や学問分野が切り捨てられることは避けなければなりません。国立大学にとっても未来予想図は必要不可欠ではないか、そう我々は考えています。

そこで、まずは少子高齢化など今後の大学運営に影響を及ぼすリスクを洗い出します。リスクとはいまだ発生していない危険。といってもリスクには悪いリスクばかりではなく、大学が今後取り得る施策など良いリスクも含まれます。国内の人口増は見込めない、国内企業も厳しい、だから外国人の留学生、教員、研究者を増やす、外国機関との受託・共同研究を増やす。こうした施策に取り組んだ結果、起こり得るリスク（為替リスクや外国の経済や政情の安定性の影響など）もあるでしょう。これらのリスク要因から決算数値（損益、キャッシュ・フロー）に影響がある事項を抽出し、シナリオを作成します。シナリオは楽観、成り行き、悲観の3パターン。例えば、運営費交付金収入の楽観は現状維持（機能強化係数毎年 $\Delta 1.6\%$ +機能強化促進分）、成り行きは毎年 $\Delta 1.6\%$ のみ。悲観は財政制度審議会の提言（今後15年間で運営費交付金への依存度と自己収入の割合を同水準とするため、運営費交付金を毎年1%ずつ減少させる）を考慮に入れ、毎年 $\Delta 2.6\%$ といった具合です。3つのシナリオから一番納得のいくシナリオを直近の決算値に落とし込み数年後の状況を示します。

とはいえ「言うは易く行うは難し」。右往左往、五里霧中の毎日で、恥ずかしながらもまだお見せできる状態ではありません。でも、リスクの語源（イタリア語）「絶壁の間を船で行く」の心意気で東京大学の未来に向けて試行錯誤を続けてまいります。（青）

本部決算課（内線22108） kessanka@ml.adm.u-tokyo.ac.jp

ワタシのオシゴト 第123回

RELAY COLUMN

教育学部・附属学校チーム
係長 新井 烈

附属学校知ってる？



(At the workplace)

みなさん知っていますか？ 学内唯一の中学生高校生がいる教育学部附属中等教育学校（略称東大附属）を？ ここは旧制東京高等学校尋常科を前進として1948年に発足して以来、現在まで大学と連携をしながら中高一貫教育の実践と研究を行っています。

私はここで主に会計と施設を担当しており、日々鉛筆一本紙一枚の細々とした物品購入から支払まで、また施設（校舎・体育館・教育棟・グラウンド）の守点検から簡易な修理まで幅広く業務を行っています。

グラウンドから眺める副都心（新宿）は漫画ドラえもんに描かれているような近未来的な感じがし、この素晴らしい環境で学ぶ生徒たちのにぎやかな声や笑顔は仕事の苦勞を消してしまうほどのパワーがあります。

若かりし頃の自分の姿を思い出しながら生徒たちを相手に楽しく指導（過ご）しています。体育祭や学園祭（银杏祭）もあるのでお時間がありましたら是非見に来てください。



(Overlooking the Shinjuku skyscrapers from the school ground)

得意ワザ：疲れ気味（貧乏暇なし何でも屋）

自分の性格：温和？裏返せば？

次回執筆者のご指名：加藤康洋さん

次回執筆者との関係：Montana friend

次回執筆者の紹介：人を飽かさせない達人とか……

Crossroad

産業界と大学がクロスする場所から、産学連携に関する“最旬”の話題や情報をお届けします。

産学協創推進本部

第126回

特許ライセンス契約の種類とその注意点について

本学に帰属する知的財産権を、広く社会で活用されるよう企業等への技術移転を推進しています。今回、技術移転に関わる特許ライセンス契約について、その種類と注意点についてお話したいと思います。



特許ライセンス契約の種類は、どのようなものがありますか？

本学に帰属する知的財産権を企業等へ特許ライセンス契約（実施許諾）する場合、「専用実施権」と「通常実施権」があります。「通常実施権」はさらに「独占的通常実施権」と「非独占的通常実施権」に分かれています。

特許ライセンス契約

- └ 専用実施権
- └ 通常実施権
 - └ 独占的通常実施権
 - └ 非独占的通常実施権



違いと注意点は何かでしょうか？

・「専用実施権」は、専用実施権を設定された者が独占的に実施することができる権利で、特許権者による特許庁へ設定登録が必要です。設定登録することにより、特許権者自らも実施できなくなります（本学では原則許諾していません）。



・「独占的通常実施権」は、実施許諾を受けた実施権者及び特段の定めが無い限り特許権者も実施できます。独占的な実施許諾の期間中は、基本的に実施許諾先以外に実施許諾を行う事はできません。

・「非独占的通常実施権」は、実施許諾を受けた複数の実施権者と特許権者が当該発明を実施できます。これは、非独占的な実施許諾の期間中であっても、新たに実施許諾を受けたいという者に対して実施許諾を行う事ができるということです。



その他、注意すべき事項、および実績を教えてください。

・実施許諾した発明を利用して、学外研究機関、または実施許諾先以外の企業と新規に共同研究を開始する際には、相手先機関等と当該発明等の実施に関する調整が必要となる場合があります。

・独占的/非独占的な実施許諾に限らず、実施許諾に関する情報は秘密情報ですので、取扱いには厳重注意が必要です。

・2015年の特許ライセンス契約の実績は独占的通常実施権23件、非独占的通常実施権5件です。



本学に帰属する知的財産権の企業への技術移転は、株式会社東京大学TLOにて行なっています。技術移転に関する情報等は、株式会社東京大学TLOのホームページ (<http://www.casti.co.jp/>) に掲載されております。

インタープリターズ・第106回 バイブル

教養学部附属教養教育高度化機構 江間有沙
科学技術インタープリター部門 特任講師

ゲームで科学技術と社会を考える

カードゲームやボードゲームといったアナログゲームの開発が国内外で盛り上がっている。最近では教材としてゲームを作る研究者も増えている。かくいう私もその一人だ。素人ながらゲームを作っていると、ゲーム制作のプロとお話しさせていただく機会が何度かあり、興味対象のズレに気付く。

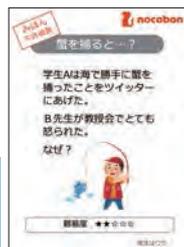
ゲーム制作の専門家は「あのルールは斬新だ！」など、ゲームシステム（ロジックや構造）の新規性を評価する。そこでは扱っている題材やストーリーは、ゲームを面白くするための“Flavor”、すなわち「味付け」に過ぎない。ルールを把握するのに1時間以上かかるような複雑なゲームシステムでも、繰り返し楽しみ攻略する醍醐味がある。

一方、素人の研究者はむしろその“Flavor”、つまり研究課題の奥深さを体感してもらうのがゲーム制作の目的だ。地球温暖化や生活習慣病など科学技術と社会を巡る複雑なジレンマや交渉は、ゲームの仮想性を利用してこそ経験できる。ただし、授業や研修など限りある時間の中で振り返りや議論の時間も確保するため、私を含め研究者はシンプルで直感的に理解できるゲームシステムを採用する傾向にある。

ゲームのわかりやすさ・エンターテインメント性と、伝えたい学術的正確さのバランスのとり方にゲーム制作のコツはあるが、目的や対象が異なれば作り方や遊び方は異なる。また、自分の授業で使いたいゲームは自作するのが手取り早い。というわけで、教養教育高度化機構の特任教員が集まって科学技術と社会の問題、科学的なものの見方や統計リテラシーについて学ぶコミュニケーション型推理カードゲーム<nocobon>を2015年に開発した。「その男は週末にPM2.5を吸いに行くという。にもかかわらず、とても嬉しそうだった。なぜ？」など不思議なストーリーが示されている。「はい」「いいえ」「関係ありません」で答えられる質問をすることで謎を解き明かすシンプルなシステムだが、そのためには柔軟な発想力、質問力と根気が必要だ。ホームページには2つのカード例と答えがある。答えに到達できたときの意外な「味付け」を是非試していただきたい。



<http://science-interpreter.c.u-tokyo.ac.jp/nocobon/>



科学技術インタープリター養成プログラム

救援・復興支援室 より

第59回

本学の救援・復興支援室の最近の状況や、遠野分室の日々の活動の様子をお届けします

救援・復興支援室の活動(6月)

6月8日	第27回救援・復興支援室会議
6月	岩手県陸前高田市「学びの部屋」学習支援ボランティア

ザシキワラシの日常③③

本部企画課係長(遠野分室勤務)



文：佐藤 克憲

4月14日及び16日に最大震度7の揺れを観測した平成28年熊本地震において、犠牲になられた方々の御冥福をお祈り申し上げるとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。ここ遠野市は、熊本県菊池市(今回の地震の震央からの距離が30km前後)と友好都市になっていることから、菊池市に対し4月16日に他の友好都市を通じて、4月17日に岩手県と企業と連携し遠野市内から、それぞれ支援物資を発送したそう(その後4月18日及び20日にも友好都市、連携企業を通じて発送)、東日本大震災で効果を発揮した支援対応の速さは今回も健在でした。東京大学の対応としては、九州大学が中心となって設置した「熊本大学支援連絡会」と、その下に設けられた支援窓口となる「熊本大学支援WG」からの依頼を受け保存水と保存食を発送したほか、4月21日に大学構成員(学生、教職員)へ向けて担当理事からボランティア活動を行う際の留意点などについて示した通知を出していますが、5月6日現在で被災各市町村はまだ災害ボランティアの受入体制が十分に整っておらず、熊本市など一部を除いては対象者を熊本県内や九州地区内在住等の方に限っているようです(災害ボランティアの受入状況の詳細については、熊本県社会福祉協議会のウェブサイト <http://www.fukushi-kumamoto.or.jp/> 等を御参照ください)。

地震発生後2週間での震度1以上の余震発生回数が1,000回以上、多くの避難者が車に避難している等、これまでの震災とは異なる状況もあるものの、東日本大震災等で得られた教訓ができる限り多く活かされ、一日も早く復旧・復興が進むことを願うばかりです。

今回もお読みいただき「オアリガトガンス!」。



(左) 菊池市の被害の様子(遠野市防災危機管理課提供)。

(右) 南阿蘇村の被害の様子(遠野市防災危機管理課提供)。

http://www.u-tokyo.ac.jp/public/recovery/info_j.html

kyuenfukkou@ml.adm.u-tokyo.ac.jp 内線：21750(本部企画課)

全学で使える便利な国際遠隔講義システム

UTOP 本格始動!

UTokyo Online Platform



先ごろ本格運用が始まったUTOP(ユートップ)をご存じでしょうか。離れた場所に講義を生配信するだけにとどまらず、講義配信先との双方向コミュニケーションでバーチャルなグローバル・クラスルームを実現する、期待の新システムなのです。ICTによる大学教育の国際化を推進してきた大学総合教育研究センター(以下、大総センター)の藤原先生が、教職員の利用を呼びかけます。

UTOPの誇る8大機能

- ① 多地点双方向接続
- ② 講義資料表示
- ③ 複数画面相互入替
- ④ アンケート出題・集計
- ⑤ 教室間チャット
- ⑥ ファイル送受信
- ⑦ スマートフォンによる議論
- ⑧ 利用予約

① 双方向通信では最大7地点、一方通信では最大60地点程度の接続が可能です。② 画面は大・中・小の3つ。小画面に表示された参加者が発言の意思を示す→マークが表示される→先生が発言者を選んで中画面に入れる→発言が終わると小画面に戻す、といった使い方ができます。⑦ スマートフォンから接続して聴講者同士で議論することも可能(大画面への表示は最大4人まで)。⑧ ウェブで空き時間を事前予約。同時使用の数を制御することで小規模なサーバーひとつでの運用が可能に。

生みの親が語る UTOP

きっかけは、大総センターが運営をお手伝いしている「學術俯瞰講義」でした。2012年冬、マイケル・サンデル先生のハーバードでの講義に世界の5地点の学生がオンラインで参加して議論する番外編を行なったんです。東大のほか、アメリカ、中国、インド、ブラジルの学生がiPad経由で議論の様子を見て、大学の国際連携にとって素晴らしい試みだと確信しました。

多地点をオンラインで結ぶ会議システムは従来からあり、東大でも多くの部局でPolycomという海外製システムを使っています。カメラやモニターなどがセットになった大がかりな装置で、持ち運びが難しく、コストの負担も大きい。導入に1台100万円前後かかるのに加え、機種更新費や修理代も無視できません。同じ装置が相手にも必要で連携先が限られるのも問題でした。システムは基本的に会議用であり、講義に最適というわけでもありません。また、Skypeなどは1対1の使用が前提ですから講義に使うにはやはり無理があります。講義に特化したシステムを自前で作るべきだと思いました。

そうした思いから開発したのがUTOPです。インターネット環境とPCさえあれば誰でもどこでも使えます。もちろん野外だって大丈夫。講義をする先生と別会場にいる学生が質疑応答やテキストチャットをしたり、講義会場にいる学生と別会場の学生がスマホ経由で互いの顔を

ながら議論をすることも可能。講義する先生は、手元の講義資料を高解像度で手軽に提示したり、聴講者にアンケートを出題してリアルタイムで集計しその結果を発表することもできます。

大学教育の国際化技術を国内外に発信

今後の課題としては、通信の内容を常時記録する機能と、通信量を自動で最適化する機能を検討していますが、この二つが実装できればパーフェクトなシステムになるのではないかと自負しています。学内の教職員には無料で提供しますが、学外へのシステム有料提供は前向きに考えています。東京大学TLOとも相談を重ねています。操作画面やマニュアルなどを全部英語で書いたのは、海外で使ってもらうことも最初から視野に入れていたため。UTokyo OCW(オープンコースウェア)やUTokyo-eTEXT(理想の教科書)、UT-mateと連動した「授業カタログ」、そして今回のUTOPと、これまで我々が培ってきた、ICTによる大学教育の国際化技術は、国内に限らず国外でも力を発揮するに違いないと思っています。

まずは学内の皆さんに使っていただくことが非常に重要です。UTOPが国際遠隔講義システムのトップになれるか否かはそこにかかっています。実際に現場で使ってみて感じた率直なお声を、チーム一同お待ちしております。



大学総合教育研究センター
特任教授

藤原毅夫

●UTOPの利用について
利用にはID取得が必要です。utop@he.u-tokyo.ac.jp宛に所属、申込代表者氏名、連絡先(e-mailアドレス、内線電話番号)を送信すると、利用申請書が送られます。必要事項を記入して申請してください。学科/専攻あたり1つ程度のAdmin権限IDが提供されます。IDが取得できたらあとは<https://utop.he.u-tokyo.ac.jp>へ接続してログインし、利用予約をするだけ。IDひとつで任意の連携先と本システムを利用できます。(問い合わせ:内線27947)

私たちが開発しました!



トピックス

全学ホームページの「トピックス」(<http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/news/topics/>)に掲載した情報の一覧と、その中からいくつかをCLOSE UPとしてご紹介します。

掲載日	担当部署	タイトル	実施日
4月13日	本部学生支援課	六大学野球開幕！総長が始球式を務めました	4月9日
4月20日	史料編纂所	平成 28 年新指定国宝・重要文化財と史料編纂所の研究編纂活動	4月20日
4月25日	本部博物館事業課	総合研究博物館小石川分館 建築博物館第 10 回の開催	4月9日
5月11日	本部学生支援課	平成 27 年度 初年次長期自主活動プログラム (FLY Program) 活動報告会等の開催	5月7日

お知らせ

人事異動情報など全学ホームページ「お知らせ」(<http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/news/notices/>)・東大ポータル等でご案内しているお知らせを一部掲載します。

掲載日	担当部署	タイトル	URL
4月19日	本部総務課	「平成 28 年熊本地震」で被災されたみなさまへ	http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/news/notices/notices_z1301_00007.html
5月2日	本部博物館事業課	総合研究博物館本郷本館のリニューアル・オープン、新常設展示「知の回廊」展の開催	http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/news/notices/notices_z0301_00008.html
5月20日	広報室	高山博教授、永原裕子教授、清木元治名誉教授が本年春の紫綬褒章を受章	http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/news/notices/notices_z1304_00020.html



CLOSE UP

平成27年度 FLY Program活動報告会等を開催

(学生支援課)



学生からの活動報告。



総長挨拶の様子。

駒場キャンパス21KOMCEE West レクチャーホールにて、平成27年度初年次長期自主活動プログラム (FLY Program) 活動報告会が開催され、南風原理事および五神総長による挨拶の後、参加学生から活動報告が行われました。

各報告からは、本プログラムの特徴でもある独自性をもつ多種多様な活動において、これまでとは異なる価値観や生活様式に触れることで自分自身に対する見方に新たな変化を感じる様子や、困難な課題に直面しながらも主体的にそれを乗り越えていく様子が伝えられ、いずれも聞き応えがあり、本プログラムでの活動により成長したことを感じさせられるものでした。

全活動報告が終了した後、初年次長期自主活動プログラム (FLY Program) 推進委員会委員長中村尚教授から現状のプログラム評価に加え、将来的な展望を含めた総括が述べられ、閉会後

には五神総長から修了証が授与されました。

引き続き、平成28年度プログラム参加学生からの活動計画発表を主眼とした交流会が開催されました。小川教養学部長による挨拶の後、各学生から活動計画の発表があり、最後に初年次長期自主活動プログラム (FLY Program) 運営委員会委員長月脚達彦教授から活動を開始するにあたっての激励のメッセージが送られ、閉会となりました。

なお、今年度の報告会及び交流会では、平成25・26年度に活動を行った学生が司会進行を務めてくれるなど、プログラム運営を支援する側として参加をしてくれました。

今年度に活動を行う4期生にとって、これまでに活動を行った1~3期生との交流は、活動開始に向けた具体的なアドバイスが得られる貴重な機会となりました。



CLOSE UP

六大学野球開幕戦で総長が始球式を務めました

(学生支援課)



4月9日(土)に東京六大学野球春季リーグが開幕。第1試合の早稲田大学戦開始前に行われた始球式では、本学の五神総長が東大カラーの青いグローブを手に登場し、力強い一球を投げました。試合は終盤まで手に汗握る投手戦となりましたが、わずかに及ばず0対1 (9回サヨ

ナラ)で敗戦。翌日の2回戦でも勝利を手にすることはできませんでした。しかし、4月18日(月)の明治大学戦で今季初勝利 (3対2)を飾ると、5月7日(土)の立教大学戦でも見事な完封勝利 (4対0)。久しぶりの勝ち点に確実ににじり寄っている硬式野球部にご声援を。

春の紫綬褒章受章 (広報室)

高山博教授 (人文社会系研究科)、永原裕子教授 (理学系研究科)、清木元治名誉教授 (医科学研究科)のお三方が、本年春の紫綬褒章を受章しました。おめでとうございます。受章記事については、上記「お知らせ」のURLからご覧ください。

表紙について

今号の表紙は第89回五月祭のひとコマから。第55回七大会の総合優勝を願って正赤通りを行進した後、工学部1号館前広場にて応援部が力強さと華やかさが漂う演舞を披露。手を引かれながらよちよちと登場したイチ公は、精一杯のモデル立ちと短い手足を駆使した愛嬌PRを敢行しました!



東大の犬、応援部と歩く。



座右の銘

プロ野球が開幕し、高橋由伸・巨人軍新監督は出だし好調だ。前任は原辰徳・元監督。1980年ドラフト会議で東海大4年だった原選手を引き当てたのが、故藤田元司・元監督だ。川上→長嶋→藤田→王→藤田→長嶋→原→堀内→原→高橋と続いた巨人軍監督の第10および12代目である。藤田元監督は、投手出身で、江川卓・西本聖・定岡正二や、楨原寛己・斎藤雅樹・桑田真澄の先発三本柱を確立させるなどし、在任7年で4度リーグ優勝、内2度日本一の好成績を収めた名将だった。

藤田元監督の座右の銘は、山本五十六・海軍大将の「やってみせ、言ってみせて、させてみて、ほめてやらねば人は動かさず」(藤田元司著「我慢の管理学」)。国民皆兵の時代の素人出身者組織を率いた山本大将の言葉としてなら解るが、野球の最高峰のプロ・エリート集団の巨人軍の監督の言葉となると驚く。そんなに巨人軍選手は動かないのか？

良い選手は臆病だとよく言われる。負けることへの恐怖心で必死に練習をするからだ。エリートは、不安やストレスを感じやすい。失敗・敗北への不安や理想とのギャップに強いストレスと感じて、努力するから、エリートになる。必然なのだ。藤田元監督の座右の

銘は、不安とストレスを抱えがちなエリート選手達にマッチしたのではないか。きっと学問のプロ・エリートが集まる東京大学にも通ずるだろう。誉める大切さを述べた名言として有名なのだが、「やってみせ」から始まるところが私は好きだ。是非実践したい。

山本五十六・海軍大将の名前は、父56才の時の子という由来らしい(余談だが立派なので紹介)。座右の銘は、長岡藩の藩訓「常在戦場」。大学教授の戦場は、会議・外国出張ではなく、研究室・実験室であろう。肝に銘じたい。

学問研究は真に楽しく価値ある活動だが、長く険しい道でもある。学生は、時に道半ばで悩み、夢中で危険に突入しがちだ。そんな時は「健康第一、研究第二」と言いたい。ヤマト運輸や(株)マキオの「安全第一、営業第二」「サービス第一、利益第二」のマネだし、格調が低いけど、韻を踏んだ響きがとても良いのだ。

秋山英文(物性研究所)